

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い実施をします。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされておりますこのような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

研究課題名	放射線治療における多分割コリメータの位置誤差と線量分布の経時的解析
当院の研究責任者（所属）	谷口 拓矢（放射線部 診療放射線技師）
他の研究機関および各施設の研究責任者	岐阜医療科学大学 研究責任者 下郷 智弘
本研究の目的	放射線治療計画を用いて、治療期間中の線量分布と照射範囲を形成する多分割コリメータ（MLC: Multi-leaf collimator）の位置誤差に対して経時的な変化が無いのか、定期的な線量検証の必要性を評価することを目的とする。
調査データ該当期間	2020年11月16日から2022年3月31日
研究の方法（使用する資料等）	調査期間中に頭頸部および前立腺に放射線治療を行う症例を対象とする。治療期間中のMLC位置誤差と線量分布の確認を行う。
試料/情報の他の機関への提供	放射線治療部より他の部門・病院外へは持ち出さない
個人情報の取り扱い	得られた情報は匿名として扱う。使用するパソコンは放射線治療部内でのみ使用可とする
本研究の資金源(利益相反)	利益相反無し
お問い合わせ先	研究代表者 放射線部 中矢周人
備考	